

第28回 女性経営者全国交流会

開催担当 東京中小企業家同友会

北区やまだ加奈子区長インタビュー

多くの経営者が集まる一大イベント「女性経営者全国交流会（女全交）」が9月4日・5日に開催されます。その応援メッセージとして、東京都北区のやまだ加奈子区長にインタビューを行いました。

東京都北区は日本の資本主義の父とも呼ばれる渋沢栄一ゆかりの地として知られており、彼の「論語と算盤」の精神を受け継いだ持続可能な地域経済の発展にも取り組んでいます。交通の利便性がよく、JR 埼京線・京浜東北線・山手線、東京メトロ南北線、都電荒川線など多くの交通機関が集中していて、閑静な住宅地から商業施設が集まる地域まで、多様なライフスタイルを受け入れる環境があります。さらに「北区ブランド」として地域の中小企業のものづくり産業が盛んで、製造業が地域経済を支えていて、これらの特色を活かし、区として住民の生活や経済活動を支援する政策を展開しています。

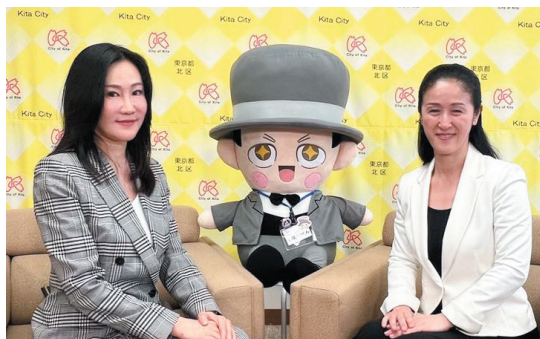
やまだ加奈子区長は、民間企業で培った経験を活かし、女性が活躍しやすい環境作りを推進しています。区長自身も母親として、中学生の子を持ち、働く女性が抱える悩みや壁を理解しているからこそ、「エンパワーメント」、つまり女性同士が励まし合い、背中を押し合うことが重要だと語ってくれました。

やまだ区長は、「無理をせず自然体であること」を自身の信念としており、「こうあるべき」という社会の同調圧力に疑問を呈して、女性は特に謙虚な人が多く、自分の能力を過小評価しがちだが、互いに勇気付け合うことで力を発揮できると女性ならではの力出し方にも注目しています。

個人の強みを活かし、弱みは補い合うチーム作りを推奨。中小企業経営において限られたリソースを最大限に活かすためには、弱点克服よりも得意分野の伸長が効果的だとし、「長所と短所はコインの裏表」と捉え、相互理解と協力が欠かせないと強調しています。

女性リーダーの役割については、女性が社会でマイノリティだった経験を持つため、多様な立場や価値観に寄り添う包摂的なリーダーシップが期待できると指摘。多様化が進む社会において、女性ならではの視点が新たな価値を生み出し、誰もが生きやすい社会を実現する鍵になると力説してくださいました。

今年は女性経営者全国交流会が東京で開催されることになっていて、やまだ区長は「女性経営者の皆様が交流を深め、さらなるエンパワーメントを実現する場として、大いに盛り上がることを期待しています。女性経営者が持つ多様な経験や感性を積極的に発信し、社会全体の意識改革や活性化につなげていただきたい」と積極的な情報発信と社会貢献への期待を込めた応援メッセージをくださいました。



田中 和江氏

株式会社ティ製作所 代表取締役
東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会委員
女全交広報部副リーダー

やまだ 加奈子氏

北区区長

品川区森澤恭子区長インタビュー

このたび、東京同友会が設営する女性経営者全国交流会（女全交）の開催にあたり、品川支部会員有志と森澤恭子区長へ表敬訪問し、趣旨や想いをお伝えして心強い応援メッセージをいただきました。

品川区では、平成24年（2012年）から女性起業家を支援するためのビジネスプランコンテスト「ウーマンズビジネスグランプリ」を毎年開催し、同友会も協賛企業として取組みを応援してきました。

森澤区長ご自身も小学生と中学生のお子さんの子育てをしながら、ベンチャー企業での勤務経験や東京都議会議員を経て務める中で、多様な立場から社会の課題に向き合ってきました。また区長はこれまでの経験を踏まえ「政治の世界も女性がまだまだ少なく、また、ビジネスの世界でも意思決定層には女性が少ないというのが現状です。」「私は、女性活躍という言葉より『女性のエンパワーメント』という言葉が好きです。女性同士が励まし合い、自信をもって一歩踏み出し前進する。そういう女性経営者の交流会になるよう、期待しています」と語ってくれました。

「しあわせ多彩区」という品川区の新たな都市ブランディングも打ち出されそのブランドアートは、障がいを取り入れて個性と言い切ることで、世界を隔てる先入観や常識という名の壁を超えるチャレンジを続ける「ヘラルボニー」が制作しました。

その世界観は、まさに女全交のTシャツに描かれるビジュアルと似ていて驚きました。白川実行委員長がいつも語っているように、「それぞれが自分の個性（いろ）を持ち、けれどその色のちがいでケンカをしたりぶつかり合うのではなく、手をつないで美しいグラデーションをつくって、互いを輝かせていく」という主旨に重なり、「寛容さと多様性」を明るく伝えるものでした。そんな品川区の目指す未来における女性経営者と同友会品川支部の役割は大きい、とわくわくしました。

さらに、区長はこれからの社会に求められる女性リーダーの役割にも触れ、「女性は社会の機微を敏感に感じ取る力や、マイノリティの立場に共感できる特性を持っている」と語りましたが、これは女性が政治・経済の分野で圧倒的にマイノリティである歴史と現状に起因しているのでしょうか。特に近年、社会の変化が激しく予測困難な事態が続く中で、女性リーダーが持つ包摂力や共感力が、ますます重要な意味を持つのです。

「女性の力で社会を良くしていきましょう」という力強いメッセージで締めくくり、女性経営者が全国交流会の設営と開催を通じて新たな価値観や視点を社会に広めていくことへの期待を寄せました。



うしろの絵が品川区のブランドアートです

橋本 久美子氏

株式会社吉村 代表取締役
東京同友会 代表理事

森澤 恭子氏

品川区区長